

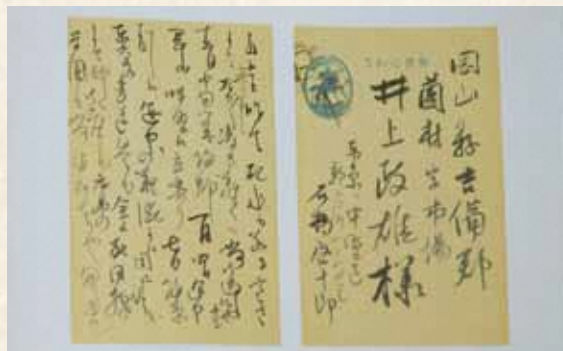
先月号で石橋屋水先生をご紹介しました。今月号の表題の石橋啓十郎というのは、石橋先生の本名です。石橋屋水というのは雅号で、書家としての名前です。今月号では、書家としての石橋先生についてご紹介いたします。

前回に続き、日本書道教育学会のホームページより引用します。

「楊守敬(清朝末の学者)によって日本に伝えられ、下部鳴鶴(明治時代の書家)が伝達した『廻腕法』の後継者。親指を手にし、他の四指をすべて裏側に廻すことにより指先の動きを封じ、ひじを水



▲執筆中の石橋先生



▲石橋先生の友人宛の葉書

重要であると考え、その考え方はやがて『新和様』という新しい形の漢字かな交じり文の提唱に繋がっていった。漢字とかなとを美しく調和させた『新和様』は今日では新しい造形芸術として実り、多くの書道家が『新和様』での作品づくりを行っている。

石橋先生とその師や友人、弟子、親族との間に交わされた多くの書簡は、書美や書法といった面のみならず、戦後教育史の激動が生々しく伺え、歴史的にも貴重な資料といえます。

# 石橋啓十郎

平に保つ『廻腕法』では、筆の垂直が保たれ、堂々とした力強い線を出すことが可能である。そしてそれは、犀水のおおらかな筆の運びにも現れている。犀水の書は長年に渡る古典の確かな研究に裏付けられながらも、ほかには無い日本の趣を持つていた。下部鳴鶴や貫名松翁(江戸時代後期の儒学者・書家・文人画家)といった偉大な書家への傾倒、そして数々の古典作品への敬意が犀水の書をより深いものへと導いていったと言えよう。犀水は書簡のような日常とともにある書こそ

※引用文献 公益財団法人日本書道教育学会ホームページ 教務課文化財保護係 矢野 和昭

## 地域おこし協力隊 レポート



上毛町地域おこし協力隊員の原野です！

私が上毛町に来て4ヶ月が経ちました。少しずつ知り合いも増え、声をかけてもらえるようになりました。

私の主な担当は情報発信。お田植祭のような伝統的な行事から集落の小さな畑作業まで、Facebookを使って町の様子を情報発信しています。「へえ、そんなことやってるんだ！」と新たな発見があるかもしれませんのでぜひ『上毛町Facebook』で調べてみてください。

## 無病息災を願う「とべら祭」

上毛町の文化財や伝統行事について調べてみると、ただ横を通りかかっただけではわからないような知られざる歴史的背景が隠れていたりします。毎年7月7日に牛頭天王公園横の八坂神社で行われている「とべら祭」もその一つ。

この地域では古くからとべらの枝を玄関に飾ると病気になるまいという言い伝えがあり、祭りの日もお神楽が舞う中、とべらの枝を買い求める参拝客が訪れていました。



唐原神楽講による神楽の奉納。夜にはスサノオノミコトが大蛇からクシナダヒメを救う迫力満点の「大蛇退治」も！

この風習は「蘇民将来」というスサノオノミコトにまつわる説話をもとになっているのですが、いつ頃からこの風習があるのか、なぜ「とべら」の枝を使うようになったのかについては明確な記録が残っていないのだそうです。なんともミステリアスな雰囲気が興味をそそりますね。また一つ、上毛町について詳しくなりました。



## お盆の「切り花・ホオズキフェア開催！」

地元出荷者の皆さんが心を込めて育てたキレイなお花やホオズキが勢揃い！ぜひお立ち寄りください。

※毎日無くなり次第終了

道の駅しんよしみ 8/10(土)~14(水) 朝7:00~  
上毛町大字大ノ瀬 304-1 ☎0979-84-7077

産直処 さわやか市 大平 8/11(日)~13(火) 朝6:00~  
上毛町 大字下唐原 1625 ☎0979-72-3945



## たまねぎと押し麦のスープ

〈材料〉(2人分)

- たまねぎ .....1個
- 押し麦(乾) .....50g
- 鶏もも肉 .....1/2枚
- キャベツ .....2枚
- にんじん .....1/2本
- オリーブ油 .....小さじ1/2
- 水 .....500cc
- 顆粒スープの素 .....小さじ1
- ローリエ(あれば) .....1枚
- 塩こしょう .....少々

〈作り方〉

- ①たまねぎは上下の端を少し落とし、横に輪切りにする。鶏肉は一口大に切り塩こしょうをふる。キャベツ、にんじんは食べやすい大きさに切る。押し麦はザルに入れて流水でさっと洗い水を切る。
- ②フライパンにオリーブ油を熱してたまねぎを焼く。片面にこんがり焼き色がついたら裏返して端に寄せ、あいたところに鶏肉、にんじんを入れ肉の色が変わるまで炒める。
- ③水、顆粒スープの素、塩こしょう、ローリエ、キャベツ、押し麦を加え、煮立ったらアクを取り、ふたをして弱火で20分ほど煮る。



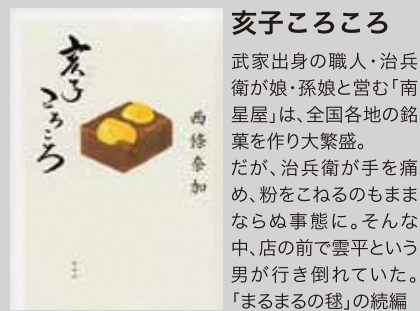
上毛町食育ボランティアグループ

## 図書館だより

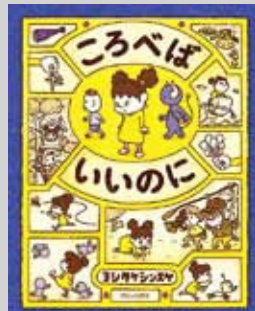
げんきの杜図書館 TEL 72-1633

■図書館開館日のお知らせ

火曜日~土曜日 10:00~18:00  
日曜、祝日 9:00~17:00  
休館日/毎週月曜日、年末年始、特別蔵書点検  
<http://www.koge-lib.jp>



さいじょう なか 西條 奈加【著】 講談社(入荷済)



ヨシタケ シンスケ【作】 ブロンズ新社(入荷済)

ころべばいいのに わたしには、嫌いな人がいる。イヤなことを言ったり、したりするから。誰かを憎んでいる時間ももたないのに、イヤな気持ちで自分じゃどうしようもない。そんなときは…。

## 環境ポスター入選作品



上毛中2年 やまもと ほの 山本 穂乃

## 環境標語入選作品

大事だよ 川はみんなの宝物

唐原小4年 やず てるゆき 矢頭 輝之

消さないで 自分のふるさと 豊かな自然

上毛中2年 あなだ 穴田 すみれ

※学校・学年の表記は3月時点のものです。

### おすすめ本

「大家さんと僕」と僕	やべ 太郎【著】	新潮社
えまの家計簿貯めグセがつくお金レッスン	えま【著】	KADOKAWA
出身成分	まつおか けいすけ 松岡 圭祐【著】	KADOKAWA
生のみ生のままで 上・下	わた 綿矢 りさ【著】	集英社
きょうふのしりとり	たけだ みほ 武田 美穂【作】	ほぶる出版

※すべて入荷済